

エクセル版
省エネ法定期報告書作成支援ツール
＜指定表＞
操作マニュアル

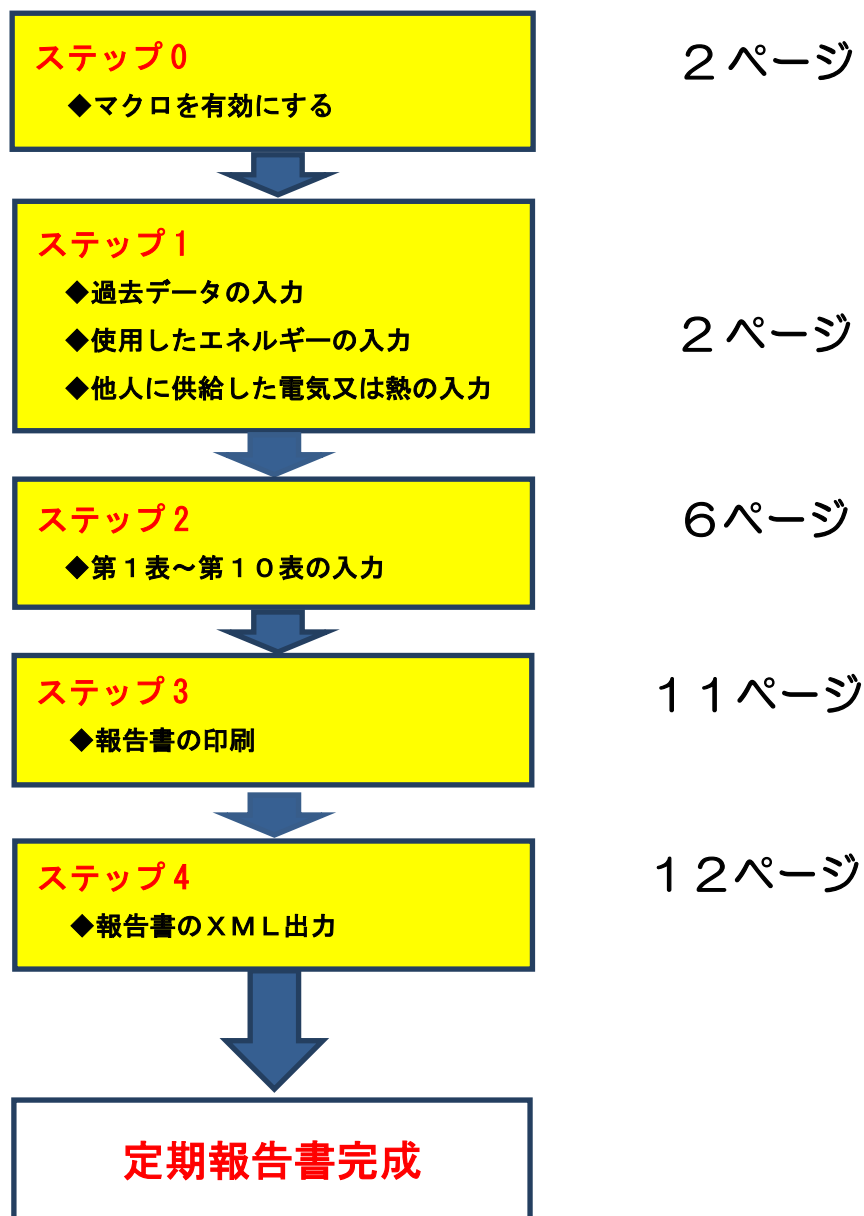
令和2年3月2日

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
省エネルギー対策課

定期報告書作成支援ツール<<指定表>>の概要

定期報告書作成支援ツール<<指定表>>（以下「本ツール」と言います。）は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律（以下「省エネルギー法」と言います。）に基づき提出が義務付けられている定期報告書の作成を支援するためのツールです。

入力から報告書完成までのフロー



※ 電子申請による報告書提出を推奨しています。

ステップ0

ステップ0では、マクロが有効になっているかどうかの確認を行います。

1 マクロが有効になっているかのテストをして下さい。 ↓のチェックボックスをマウスでクリックして下さい。

←のようにチェックが入った状態にして下さい ⇒ マクロ有効テスト クリックしても何も変わらなければ、マクロを有効にするSTEP 0に進んで下さい。

STEP 0
Excelの準備:マクロを有効にする

本ツールではマクロを使用しているため、有効になっている必要があります。もしも無効になっている場合は「STEP0（マクロを有効に）」シートを参照し、マクロを有効にしてください。

ステップ1

「STEP1（第1入力頁）」シートで、報告書の作成に必要な情報の事前入力を行います。

（1）特定事業者番号又は特定連鎖化事業者番号の入力

当該事業所に対応する事業者番号を入力します。

※指定表の作成には必要ありませんが、出力された指定表XMLを特定表XMLと紐付けるために使用しますので、必ず入力してください。

（2）報告建物の用途選択

「専ら事務所」「工場等」のどちらに該当するかを選択します。

選択した内容により、「STEP2(第2入力頁)」特8表で記入すべき内容が自動で指定されます。

（3）過去データの入力

報告書の作成に必要な過去の実績値を入力します。

※入力したデータは保存・取込が可能になります。

※以下の各項目はSTEP1の過去データを参照しているため、過去の報告があり、かつ過去データを設定していない場合、正しく処理されません。

- 第2表 前年度原油換算kl
- 第4表 エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値
- 第5表 エネルギーの使用に係る原単位、電気需要平準化評価原単位
- 第6表 エネルギーの使用に係る原単位、電気需要平準化評価原単位

黄色の箇所に必要な項目の入力をして下さい。赤色の箇所は必須項目なので入力忘れのないようお願いします。
 (STEP2も同じく、黄色の箇所が入力する箇所です。)
 一般の事業(熱や電気の供給業以外の事業)の者は下記の1~4及び5の①を入力して下さい。
 主な事業が、発電所の者は、下記の1~4及び5の②を入力して下さい。
 主な事業が、熱供給業の者は、下記の1~4及び5の③を入力して下さい。

(1) ... 1 特定事業者番号又は特定連鎖化事業者番号
 (7桁の特定事業者番号を入力して下さい) ※「指定工場等番号」ではございませんのでご注意ください。

(2) ... 2 報告建物の用途選択
 当工場は ▼から選択して下さい 必須です

(3) ... 3 過去4年値の入力 (過去に提出された定期報告書の数値を入力して下さい)

「指定-第2表 原油換算(K)」	西暦 2018 年度 (前年提出された定期報告書「指定-第2表」の数値を入力して下さい)			
「指定-第4表 生産数量等 (使用量と密接な関係をもつ値)」	西暦 2018 年度 (前年提出された定期報告書「指定-第4表」の数値を入力して下さい)			
名称	単位	数値		
「指定-第6表1 エネルギーの使用に係る原単位」	西暦 2015 年度	西暦 2016 年度	西暦 2017 年度	西暦 2018 年度
(過去4年に提出された定期報告書「指定-第6表1」の数値を入力して下さい)				
「指定-第6表2 電気需要平準化評価原単位」	西暦 2015 年度	西暦 2016 年度	西暦 2017 年度	西暦 2018 年度
(過去4年に提出された定期報告書「指定-第6表2」の数値を入力して下さい)				

4 使用したエネルギーの入力 (西暦2019年度実績)

STEP1 3の入力内容を保存用シートに保存します。
 ※STEP2入力後に保存すると、報告年度の値も保存されます。

過年度データの保存

過年度データの取込

他のExcelファイルから保存用シートのデータを取り込みます。

保存用データの値に戻す

STEP1 3を保存用シートに保存されている値に置き換えます。

(4) 使用したエネルギーの入力

① 都市ガスの単位発熱係数、CO2排出係数の設定

都市ガスの発熱係数、規格およびCO2排出係数を設定します。

- 本ツールで入力できる都市ガスは 1 件のみです。
- 使用量、販売量は第2表に入力してください。

② その他の燃料の単位発熱係数、CO2排出係数の設定

その他の燃料の種類、発熱係数およびCO2排出係数を設定します。

燃料の種類はリストから選択できます。(直接入力も可能です)

※CO2 排出係数は、報告対象の燃料種類(「テナント空調等推計値」及び「ジェット燃料油(航空機燃料)」)のみ自動設定されます。

それ以外の燃料種類は CO2 報告対象外です。

- 本ツールで入力できるその他の燃料は 11 件までです。
 初期は 1 件のみ表示されていますので、複数件入力する場合は+ボタンで入力行を追加してください。
- ここで表示されている件数が第2表のその他の燃料の件数になりますので、不要な入力行を表示した場合は、-ボタンで削除してください。
- 使用量、販売量は第2表に入力してください。

③ 電気のCO2排出係数の設定、買電量の入力

電気のCO2排出係数を設定し、買電量を入力します。

- 電気事業者をリストから選択すると、その事業者の CO2 排出係数が設定されますので、右の表に昼間買電量、うち電気需要平準化時間帯の買電量、夜間買電量を入力してください。

- 本ツールで入力できる電気事業者は 10 件までです。
初期は 1 件のみ表示されていますので、複数件入力する場合は+ボタンで入力行を追加してください。
- 代替値を使用する場合は、電気事業者のリスト最下部にある「代替値」を選択してください。
(排出係数の欄に代替値を直接入力することでも実排出量は算出されますが、調整後排出量は正しく算出されませんので、ご注意ください)
- 上記以外の買電は、名称及び CO2 排出係数を直接入力し、買電量を入力してください。V7.00 より、転記ボタンを押下すると特定 12 表に上記以外の買電が転記されます。
※電気事業者の修正を行った場合は再度転記ボタンを押下してください。

4 使用したエネルギーの入力 (西暦2019年度実績)

① その他の燃料 (単位発熱係数と二酸化炭素排出係数)

都市ガスは、規格 (例: 1.3 A) と単位発熱量の実数を各ガス会社に確認し、必ずそれを入力して下さい。
* 施行規則で定められた係数以外に電気やガス事業者等から提供された単位発熱量を用いることができます
* 都市ガス以外の「その他の燃料」は、入力がない場合はデフォルト値を使用して計算するよう設定しています。

エネルギー名	単位発熱係数 (規格)	単位 (規格)	CO2排出係数 (t-GJ)
都市ガス		GJ/千m3	0.0136

「ガソリン」は「その他の燃料」ではなく「揮発油」に入力してください。

買電量はこちらに入力します。

② 電気(二酸化炭素排出係数)

電気事業者 (小売電気事業者又は一般送配電事業者) から供給された電気を使用している場合は、電気事業者ごとの排出係数を入力してください。
国が公表する電気事業者ごとの排出係数を使用している場合は、実測等に基づく適切な排出係数を入力してください。

該当するメニューがない場合は残差を参考値を選んでください。※残差と参考値についての説明はこちら

エネルギー名	電気事業者ごとの排出係数を入力してください (▼から事業者を選択)	二酸化炭素(CO2)/kWh
昼間買電		
夜間買電		
上記以外の買電		

転記

買電量	うち電気需要	買電	うち電気需要	CO2	うち電気需要
千kWh	千kWh	熱量 GJ	千kWh	排出量	千kWh
昼間					
夜間					
(合計)					

指定-第2表およびCO2計算シートに計算結果が反映されます。

5 他人に供給(又は使用した電気又は熱)の入力

① その他の燃料 (単位発熱係数と二酸化炭素排出係数)

都市ガスは、規格 (例: 1.3 A) と単位発熱量の実数を各ガス会社に確認し、必ずそれを入力して下さい。
* 施行規則で定められた係数以外に電気やガス事業者等から提供された単位発熱量を用いることができます
* 都市ガス以外の「その他の燃料」は、入力がない場合はデフォルト値を使用して計算するよう設定しています。

入力行を追加します (最大 11 件)

エネルギー名	単位発熱係数 (規格)	単位 (規格)	CO2排出係数 (t-GJ)
都市ガス		GJ/千m3	0.0136

燃料種類がリスト表示されます (直接入力することも可能です)

「ガソリン」は「その他の燃料」ではなく「揮発油」に入力してください。

② 電気(二酸化炭素排出係数)

電気事業者 (小売電気事業者又は一般送配電事業者) から供給された電気を使用している場合は、電気事業者ごとの排出係数を入力してください。
国が公表する電気事業者ごとの排出係数を使用している場合は、実測等に基づく適切な排出係数を入力してください。

残差: メニュー別供給を受
参考値: メニュー調整後実測値
ただし、電気の作
この参考

入力行を追加します (最大 10 件)

エネルギー名	電気事業者ごとの排出係数を入力してください (▼から事業者を選択)	二酸化炭素(CO2)/kWh
昼間買電	~小売電気事業者~	
夜間買電	北海道電力株式会社	
上記以外の買電	東北電力メニューA 東北電力(参考値)事業者全体 東京電力エナジーパートナーメニューA 東京電力エナジーパートナーメニューB 東京電力エナジーパートナーメニューC (残差) 東京電力エナジーパートナー(参考値)事業者	

転記

買電量	うち電気需要	買電	うち電気需要	CO2	うち電気需要
千kWh	千kWh	熱量 GJ	千kWh	排出量	千kWh
昼間					
夜間					
(合計)					

指定-第2表およびCO2計算シートに計算結果が反映されます。

電気事業者がリスト表示されます

(5) 他人に供給した電気又は熱の入力

① 事業の選択

当該事業所が一般事業者、発電所、熱供給事業者のいずれかを選択します。
 ※CO2排出量の計算及び第10表の編集に反映されるので、必ず正しく選択してください。

② 係数及び使用量の入力

①の選択により、入力対象の項目は背景色が黄色で表示されます。
 シート上の指示に従って、必要な情報を入力します。

(5)

①...

5	他人に供給(又は使用)した電気又は熱の入力	当工場は			(▼から選択して下さい 必須です)
↑↑↑↑ ここまでは、全ての工場・事業場が該当する入力項目です。 一般の事業者で、熱の換算係数を(原則通り)法定係数を用いる場合や他人に熱や電気を販売していない(無償含む)場合は、STEP2へ進んで下さい。					
★ 下表の熱/電気は、法定換算係数に代えて当該熱/電気を発生させるために使用された燃料の発熱量を算定する上で適切と認められるものを用いることができます。その場合は、係数の根拠となる資料を添付して下さい。					
★ 他人に電気又は熱を供給した場合、エネルギー起源CO2排出量から控除する必要があります。 []に下記算出式から求めた係数を必ず入力して下さい。					
②...	①	一般事業者	(熱の換算係数をデフォルト値以外の値を使用する場合や熱を販売した(無償含む)量がある場合)		
	エネルギー名	法定係数以外を使用する場合の発熱係数		CO2の排出係数	
		係数	単位	二酸化炭素 (t/GJ, 1002/kWh)	
	都市ガス		GJ/千m3		
	産業用蒸気		GJ/GJ		
	産業用以外の蒸気		GJ/GJ		
	温水		GJ/GJ		
	冷水		GJ/GJ		
	自家発電		GJ/千kWh		
↓ 一般の事業者は、STEP2へ進んで下さい。					
	②	発電所	発電所の場合は、他人に供給した電気に伴う排出量を控除した排出量に加え、燃料の使用に伴う排出量も報告する義務があります		

ステップ2

「STEP2（第2入力頁）」シートの第1表～第10表に、必要事項を記入します。

各表の記入内容や記入方法については、記入要領を参照してください。
ここでは、本ツールの操作方法について説明します。

(1) 項目の背景色

エネルギー管理指定工場等番号	
当該工場等の名称	変更有
当該工場等の所在地	
主たる事業	
細分類番号	
エネルギー管理者（員）の 職名・氏名・連絡先	職名 氏名 エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号 未選任 電話() FAX() メールアドレス

入力項目です。

必須入力項目です。
(未入力の場合、
報告書XMLは
出力できません)

指定-第2表 エネルギー管理指定工場等、連鎖化エネルギー管理指定工場等、管理統括エネルギー管理指定工場等又は管理関係エネルギー管理指定工場等のエネルギーの使用量及び販売した副生エネルギーの量

エネルギーの種類	単位	2010年度					
		使用量		販売した副生エネルギーの量		購入した未利用者の量	
		数値	数量GJ	数値	数量GJ	数値	数量GJ
原油(コンデンサートを除く)	kl						
原油のうちコンデンサート(NGL)	kl						

自動計算または
自動表示される
項目です。

(2) ボタン

シートの様式上、もしくは様式の横に、報告書入力を補助する各種のボタンを配置しています。ボタンの機能（使い方）について、説明します。

① 各表の「+」ボタン／「-」ボタン

初期表示されている行数（件数）では不足することがある項目は、「+」ボタン／「-」ボタンで追加／削除が可能となっています。

- 1回のボタンクリックで追加／削除される行数（件数）、及び表示できる最大行数（件数）は、各表によって異なります。

（下の表をご参照ください）

- 「-」ボタンをクリックすると、削除される行に入力済の内容はクリアされます。
- 初期表示されている行を削除することはできません。
（初期の状態では、「-」ボタンは表示されません）

表	項目	初期表示	何行（件）ずつ	最大何行（件）
第1表	エネルギー管理者（員）	1件	1件	10件

第3表	設備	10件	10件	50件
第7表	(イ)～(ニ)	8行	8行	32行
第9表	1, 2	8行	8行	32行
第10表	4	10行	10行	30行

② 第1表の「変更有」ボタン

エネルギー管理指定工場等の名称が変更になっているとき、ボタンをクリックすると変更前名称の入力欄が表示され、キャプションが「変更無」に変わります。元の表示に戻す場合は、「変更無」をクリックしてください。

③ 第1表の「未選任」ボタン

エネルギー管理者（員）未選任のとき、ボタンをクリックすると氏名の後に「（作成実務者）」、免状番号又は修了番号欄に「（選任中）」と表示され、キャプションが「選任済」に変わります。元の表示に戻す場合は、「選任済」をクリックしてください。

エネルギー管理指定工場等、連鎖化エネルギー管理指定工場等、管理統括エネルギー管理指定工場等又は管理関係エネルギー管理指定工場等単位の報告

指定-第1表 エネルギー管理指定工場等、連鎖化エネルギー管理指定工場等、管理統括エネルギー管理指定工場等又は管理関係エネルギー管理指定工場等の名称等

エネルギー管理指定工場等番号											
当該工場等の名称										変更有 ……②	
当該工場等の所在地	〒										
主たる事業	1 ページ										
細分類番号											
エネルギー管理者（員）の 職名・氏名・連絡先	職名										
	氏名										
	エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号										未選任 ……③
	電話	<	-	-	>						
	FAX	<	-	-	>						
メールアドレス										+ ……①	

行を追加する場合は、表の右にある「+」ボタンを押してください⇒（以下同様）

④ 第8表の「該当なし」ボタン

対象項目となっている設備で、工場等に設置されていない設備等については「該当なし」ボタンをクリックすると全体に斜線がひかれ、キャプションが「該当あり」に変わります。

ひいた斜線を消す場合は、「該当あり」をクリックしてください。

※「該当なし」ボタンで斜線をひいても、既に「✓」がついている場合にはクリアされませんので、該当なしのときは必ず「✓」をはずしてください。

⑤ 第8表の「廃熱回収なし」ボタン

排ガスを排出する設備がある工場等であって廃熱回収を実施していない場合は2. (3)の「廃熱回収なし」ボタンをクリックすると右の2つの欄に斜線がひかれ、キャプションが「廃熱回収あり」に変わります。

ひいた斜線を消す場合は、「廃熱回収あり」をクリックしてください。

(3) 廃熱の回収利用	廃熱の回収利用の基準	廃熱に関する計測及び記録	廃熱回収設備の保守及び点検	廃熱回収設備の新設に当たっての措置	
	管理標準の設定の状況	計測及び記録に関する管理標準の設定の状況	保守及び点検に関する管理標準の設定の状況	<input type="checkbox"/> 新設の際、判断基準どおり措置した <input type="checkbox"/> 新設の際、判断基準どおり措置していない <input type="checkbox"/> 当該年度に設備を新設していない	<p>← 該当しない場合は、下のボタンを押して下さい。</p> <p>④</p>
	<input type="checkbox"/> 設定済	<input type="checkbox"/> 設定済	<input type="checkbox"/> 設定済		
	<input type="checkbox"/> 一部設定済 (%)	<input type="checkbox"/> 一部設定済 (%)	<input type="checkbox"/> 一部設定済 (%)		
	<input type="checkbox"/> 未設定	<input type="checkbox"/> 未設定	<input type="checkbox"/> 未設定		
	管理標準に定めている管理の状況	管理標準に定めている計測及び記録の実施状況	管理標準に定めている保守及び点検の実施状況		
	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施している		
	<input type="checkbox"/> 一部実施している	<input type="checkbox"/> 一部実施している	<input type="checkbox"/> 一部実施している		
	<input type="checkbox"/> 実施していない	<input type="checkbox"/> 実施していない	<input type="checkbox"/> 実施していない	<input type="checkbox"/> 廃熱回収なし <input type="checkbox"/> 該当なし	

(3) チェックボックス

第8表では、チェックボックスで該当するものを選択します。

- 上段（設定の状況）で「未設定」に「✓」を入れると、下段（管理の状況、実施状況）の「実施していない」に自動的に「✓」が入ります。（「✓」をはずした場合も同様です）
- 以下の場合は、赤文字でメッセージが表示されますので、修正してください。
 - 運転の管理、計測及び記録、保守及び点検、新設に当たっての措置のうち、一部のみ選択し、他を選択していない
 - 設定の状況や管理の状況、実施状況を複数選択している
 - 「一部設定済」を選択したが、進捗状況を入力していない

※上記（2）⑤で「廃熱回収なし」を選択した場合に、保守及び点検と新設に当たっての措置に「設定状況を選択して下さい」「新設に関する措置を選択して下さい」のメッセージが表示されますが、実際はエラーではありませんので、無視してください。

2. 工場等（専ら事務所その他これに類する用途に供する工場等を除く工場等）における判断の基準の遵守状況
 (法第5条第1項第2号関係)

対象項目(設備)	運転の管理	計測及び記録	保守及び点検	新設に当たっての措置
(1) 燃料の燃焼の合理化	燃料の燃焼の管理 管理標準の設定の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 設定済 <input type="checkbox"/> 一部設定済 () % <input type="checkbox"/> 未設定 実施状況↓を選択して下さい 管理標準に定めている管理の状況 <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	燃料の燃焼に関する計測及び記録 計測及び記録に関する管理標準の設定の状況 <input type="checkbox"/> 設定済 設定状況を選択して下さい <input type="checkbox"/> 一部設定済 () % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている計測及び記録の実施状況 <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	燃焼設備の保守及び点検 保守及び点検に関する管理標準の設定の状況 <input type="checkbox"/> 設定済 設定状況を選択して下さい <input type="checkbox"/> 一部設定済 () % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている保守及び点検の実施状況 <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	燃焼設備の新設に当たっての措置 <input type="checkbox"/> 新設の際、判断基準どおり措置した <input type="checkbox"/> 新設の際、判断基準どおり措置していない <input type="checkbox"/> 当該年度に設備を新設していない 新設に関する措置を選択して下さい
(2) 加熱及び冷却並びに伝熱の合理化	(2-1) 加熱設備等 加熱及び冷却並びに伝熱の管理 管理標準の設定の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 設定済 <input type="checkbox"/> 一部設定済 () % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている管理の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input checked="" type="checkbox"/> 実施していない	加熱等に関する計測及び記録 計測及び記録に関する管理標準の設定の状況 <input type="checkbox"/> 設定済 進捗状況を記入して下さい <input checked="" type="checkbox"/> 一部設定済 (60) % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている計測及び記録の実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	加熱等を行う設備の保守及び点検 保守及び点検に関する管理標準の設定の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 設定済 <input type="checkbox"/> 一部設定済 () % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている保守及び点検の実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	加熱等を行う設備の新設に当たっての措置 <input checked="" type="checkbox"/> 新設の際、判断基準どおり措置した <input type="checkbox"/> 新設の際、判断基準どおり措置していない <input type="checkbox"/> 当該年度に設備を新設していない
(2-2) 空調調和設備、給湯設備	空調調和設備、給湯設備の管理 管理標準の設定の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 設定済 <input type="checkbox"/> 一部設定済 () % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている管理の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	空調調和設備、給湯設備に関する計測及び記録 計測及び記録に関する管理標準の設定の状況 <input type="checkbox"/> 設定済 <input checked="" type="checkbox"/> 一部設定済 (60) % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている計測及び記録の実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	空調調和設備、給湯設備の保守及び点検 保守及び点検に関する管理標準の設定の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 設定済 <input type="checkbox"/> 一部設定済 () % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている保守及び点検の実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	空調調和設備、給湯設備の新設に当たっての措置 <input type="checkbox"/> 新設の際、判断基準どおり措置した <input type="checkbox"/> 新設の際、判断基準どおり措置していない <input checked="" type="checkbox"/> 当該年度に設備を新設していない
(3) 廃熱の回収利用	廃熱の回収利用の基準 管理標準の設定の状況 <input type="checkbox"/> 設定済 <input type="checkbox"/> 一部設定済 () % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている管理の状況 <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	廃熱に関する計測及び記録 計測及び記録に関する管理標準の設定の状況 <input type="checkbox"/> 設定済 <input type="checkbox"/> 一部設定済 () % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている計測及び記録の実施状況 <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	廃熱回収設備の保守及び点検 保守及び点検に関する管理標準の設定の状況 <input type="checkbox"/> 設定済 <input type="checkbox"/> 一部設定済 () % <input type="checkbox"/> 未設定 管理標準に定めている保守及び点検の実施状況 <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 一部実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	廃熱回収設備の新設に当たっての措置 <input type="checkbox"/> 新設の際、判断基準どおり措置した <input type="checkbox"/> 新設の際、判断基準どおり措置していない <input type="checkbox"/> 当該年度に設備を新設していない 廃熱回収なし

エラーあり

エラーなし

(4) リストボックス

第10表 5では、権利利益の保護に係る請求の有無ならびにその他の関連情報の提供の有無が、それぞれリストボックスになっています。
 有の場合はリストから「①. 有」を選択します。

5 権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無			
権利利益の保護に係る請求の有無 (該当するものに○をすること)	1. 有 ①. 有	その他の関連情報の提供の有無 (該当するものに○をすること)	1. 有 ②. 無
5 権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無			
権利利益の保護に係る請求の有無 (該当するものに○をすること)	1. 有 ②. 無	その他の関連情報の提供の有無 (該当するものに○をすること)	1. 有 ①. 有

(5) データの保存

本ツールではマクロ、関数（数式）、データの入力規則、ならびに条件付き書式を多用しており、システムへの負荷が高くなっています。

ご使用の環境によっては、Excelの動作が不安定となり応答なしになる、又は動作を停止し、最悪の場合ExcelBookが破損するケースがありますので、ご注意ください。

念のため、

- ① 保存の際に別の名前をつけて保存する、保存後は別の場所へcopyする等してバックアップを作成して頂くこと
- ② 上記①を行った上で、入力途中で（1表入力すること等に）保存して頂くことをおすすめします。

ステップ3

ステップ3では、入力した内容より報告書の印刷を行います。

4 四番目に、印刷するためSTEP3のワークシートを開き、ご希望の各ボタンを押して下さい。

STEP 3
(提出用)定期報告書の印刷、
CO2排出量確認画面の印刷をするための画面

事業者全体の報告部分(特定-第1表~第12表 7)に添付して、貴社の主たる事務所(本社)所在地を管轄する経済産業局及び事業の所管省庁宛に提出して下さい。

(なお、貴工場の主な事業が経済産業省所管の事業であれば、経済産業局長宛を1通作成すれば結構です。)

「はじめに」シートのSTEP3をクリックします。

(または、「STEP3 (印刷メニュー頁)」のシート見出しを選択します)

「STEP3 (印刷メニュー頁)」が表示されますので、「1. 提出用定期報告書の印刷」をクリックします。

定期報告書(工場・事業場用)印刷

1. 提出用定期報告書の印刷

このボタンで印刷をすると、第8表の1または2の内、
貴工場に該当しない部分は省いて印刷します
※ 全て印刷するのに時間がかかる場合がありますのでご注意ください。

2. 二酸化炭素排出量計算確認画面の印刷

エネルギー別二酸化炭素排出量一覧表です
STEP2の二酸化炭素排出量の計算根拠です

※ご使用のプリンタによって一部の表ですべての列が1頁におさまらず、2頁に分かれて印刷されてしまう場合があります。

そのような場合は、お手数ですがシートの印刷の設定を変更してください。

※STEP2の二酸化炭素排出量の計算結果を印刷して確認する場合は、「2. 二酸化炭素排出量計算確認画面の印刷」をクリックしてください。

ステップ4

ステップ4では、入力した内容を報告書XMLに出力します。

5 下のボタンを押して、指定表XMLの出力を実行して下さい。

出力したXMLファイルは、電子申請の際に事業者用EXCELから出力した特定表XMLと一緒に添付して下さい。



「はじめに」シートのXML出力ボタンをクリックします。

※以下の番号のいずれかが正しく入力されていない場合、XML出力はできません。

- 特定事業者番号又は特定連鎖化事業者番号
- 主たる事業の細分類番号

ファイル名は・・・

“事業所番号”_指定表(EX)_提出.xml ※事業所番号は、登録したエネルギー管理指定工場番号

“事業所名”_未指定工場情報(EX)_提出.xml ※事業所名は、登録した事業所名(管理指定工場では無い場合)

ファイル名は変更可能ですが、XMLファイルをインポートデータとして使用する場合は、

” OO_指定表(EX)_OO”、” OO_未指定工場情報(EX)_OO”

とする必要があります。(” OO” は任意)

国への定期報告は、「特定第1表～第12表」と「指定第1表～第10表（エネルギー管理指定工場のみ。複数ある場合はそれぞれ）」のすべてが必要です。

定期報告書として正式に提出する場合は、XMLファイルでの電子申請を推奨しています。ExcelBook及び印刷した紙ベースの提出も可能ですが、紙ベースの場合は代表者の押印が必要となり、そのままでは提出できませんのでご注意ください。

問い合わせ先

窓口	電話番号	管轄区域
北海道経済産業局エネルギー対策課	011-709-1753	北海道
東北経済産業局エネルギー対策課	022-221-4932	青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
関東経済産業局省エネルギー対策課	048-600-0364	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県・静岡県
中部経済産業局エネルギー対策課	052-951-2775	富山県・石川県・岐阜県・愛知県・三重県
近畿経済産業局エネルギー対策課	06-6966-6051	福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
中国経済産業局エネルギー対策課	082-224-5741	鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
四国経済産業局エネルギー対策課	087-811-8535	徳島県・香川県・愛媛県・高知県
九州経済産業局エネルギー対策課	092-482-5473	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県
沖縄総合事務局経済産業部 エネルギー対策課	098-866-1759	沖縄県
資源エネルギー庁省エネルギー対策課	03-3501-9726	
産業技術環境局環境政策課環境経済室	03-3501-1770	(温室効果ガス排出量の報告の内容に関する問い合わせ)

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標、証憑又は商品名称です。
- その他、記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 本書の内容の一部又は全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容は、将来予告無しに変更することがあります。
- 本書で紹介している定期報告書作成支援ツールを利用したことにより発生した利用者の損害及び利用者が第三者に与えた損害については、上記にかかわらず責任を負いません。